

子育て支援に関するアンケート

いただいた回答は宇土市の子育て支援の充実に生かされます

【ご協力をお願い】

宇土市では、第2期宇土市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～6年度）に基づき、「宇土っ子のゆたかな心と 元気な体を育む」を基本理念として様々な事業を実施してきました。

引き続き、こどもの笑顔があふれるまちづくりを進めるため、「第3期宇土市子ども・子育て支援事業計画（宇土市こども計画）」を作成します。

この計画を作るにあたっては、保育や子育て支援などについて、どのようなサービスがどれだけ必要かを把握することが欠かせません。

そこで、就学前のお子さま約 1,000 人の方に調査票を送付して、その保護者の方にアンケートを行います。このアンケートは、日ごろのみなさんの考えや気持ちをお答えいただき、子どもが宇土市に住みたい、そして、住み続けたいと思えるような宇土市をつくるために貴重なご意見をいただくためのアンケートです。

寄せられたご意見・ご要望は計画書作成の基礎資料として大切に活用させていただきますので、ぜひとも皆さまのご協力をお願いします。

令和6年4月

宇土市長 元松茂樹

〈パソコンやスマートフォン等からオンラインで回答も可能です〉

以下のQRコードを読み込むか、URLを入力してアクセスしてください。

回答時には以下ログインIDとパスワードが必要になります。

QRコード



URL

https://src3.webcas.net/form/pub/src3/uto_maehogosya

※オンラインで回答した場合、この調査票の返送は不要です。

【ご記入のお願い】

1. 特にただし書きのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がご回答ください。
3. 回答は、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。ただし書きや矢印に従ってご回答ください。
5. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に封入して郵便ポストにご投函いただくか、宛名のお子さんが市内保育園・幼稚園に入園中の場合は、通われている園へ提出してください。 **4月30日（火）まで**に提出をお願いします。
6. ご不明な点、その他アンケートに関して疑問な点などがございましたら、下記にお問い合わせください。

宇土市 健康福祉部 子育て支援課 保育支援係
電話：0964-27-3323



回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、国が推進している「子ども・子育て支援新制度」は、以下のような考え方に基づいています。

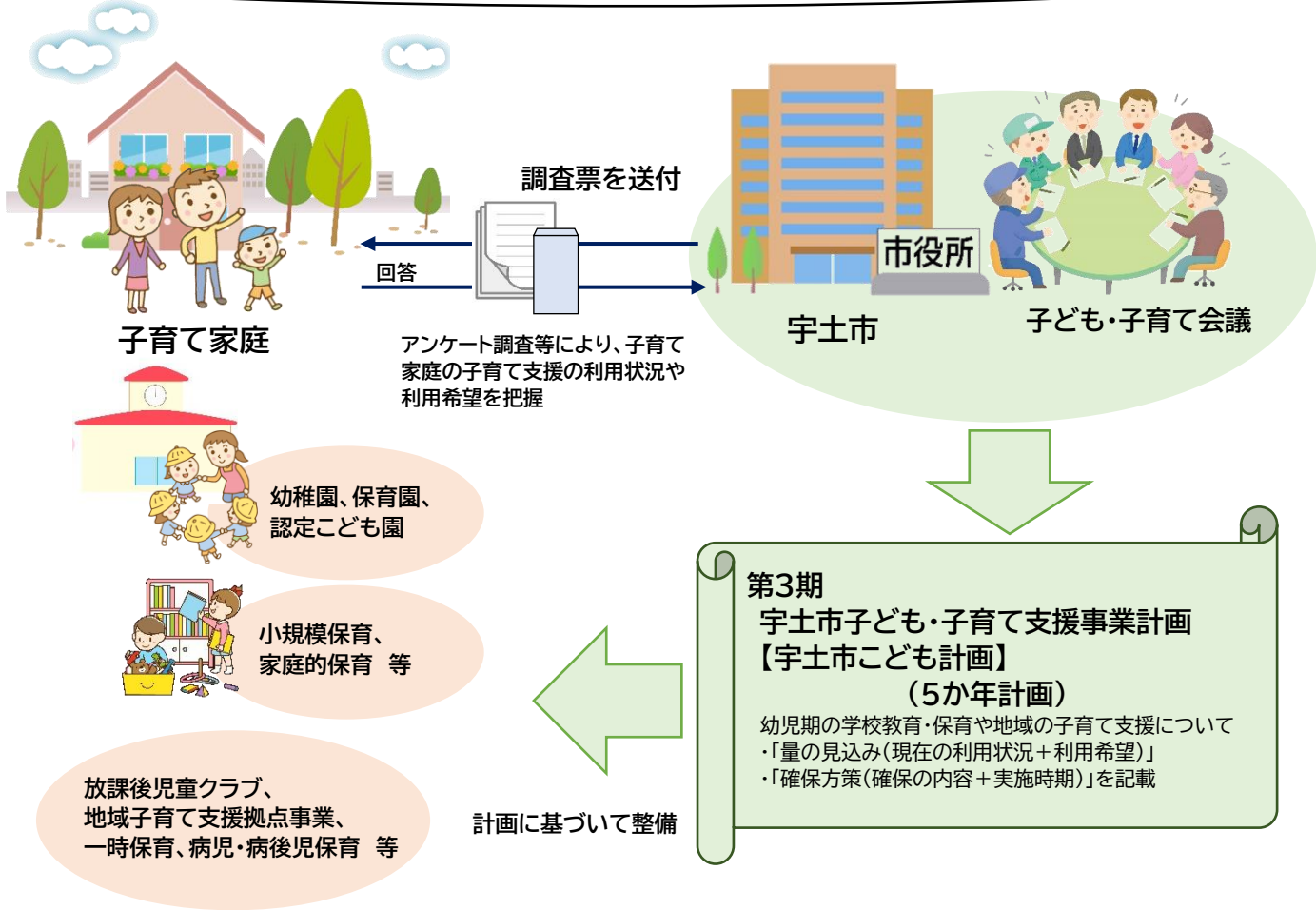
- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

● 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者の、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



問 8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をするうえで、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。(1つだけ○)

1. いる/ある

問 9 (1) へ

2. いない/ない

問 10 へ

問 9 で「1.いる/ある」に○をつけた方に向かっています。

問 9 (1) お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. その他の家族・親族 |
| 3. 近所の人 | 4. 知人や友人 |
| 5. 保育所・幼稚園など | 6. 子育て支援センターなどの行政機関や相談窓口 |
| 7. 医師・看護師などの医療機関の職員 | 8. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 9. インターネットの相談窓口やネット仲間 | 10. その他() |

問 10 現在の生活に経済的なゆとりがありますか。(1つだけ○)

1. かなりある 2. まあまあある 3. ふつう 4. あまりない 5. まったくない

4 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 14 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
→ 1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回 程度
2. その他宇土市で実施している類似の事業（具体名： ）
→ 1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回 程度
3. 利用していないし、今後も利用しない
4. 利用していないが、今後利用したい

問 15 問 14 のような地域子育て支援拠点事業について、今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 今後利用したい
→ 1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回 程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
→ 1週当たり 更に（ ）回 もしくは 1か月当たり 更に（ ）回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問 16 下記の支援サービスをこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。
それぞれのサービスごとにあてはまるものを選んでください。

		認知度・利用状況			今後の利用意向		
		利用したことがある	知っているが、利用したことがない	知らない	利用したい	利用しない	わからない
1	地域子育て支援拠点事業 (親子が集まって過ごしたり、相談をする場) つどいの広場、子育て支援センターなど	1	2	3	1	2	3
2	母親(父親)学級、両親学級、育児学級	1	2	3	1	2	3
3	保健センターの情報・相談事業	1	2	3	1	2	3
4	家庭教育に関する学級・講座	1	2	3	1	2	3
5	保育所や幼稚園の園庭等の開放	1	2	3	1	2	3
6	子育ての総合相談窓口	1	2	3	1	2	3
7	市発行の子育て支援情報誌	1	2	3	1	2	3
8	ファミリーサポートセンター	1	2	3	1	2	3
9	産後ママサポート	1	2	3	1	2	3
10	子育て短期支援 (ショートステイ、トワイライトステイ)	1	2	3	1	2	3
11	チャイルドシートの貸し出し	1	2	3	1	2	3

※ 教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制（例：9時～18時）でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

問 17（1） 土曜日

- | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい | } | → 利用したい時間帯（ ）時～（ ）時まで |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------|

問 17（2） 日曜日・祝日

- | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい | } | → 利用したい時間帯（ ）時～（ ）時まで |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------|

問 18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制（例：9時～18時）でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | } | → 利用したい時間帯（ ）時～（ ）時まで |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------|

宛名のお子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 20 にお進みください。

問 19 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかったことはありますか。

1. あった

問 19 (1) へ

2. なかった

問 20 へ

問 19 (1) 宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ（仕事等）	（ ）日
イ. 母親が休んだ（仕事等）	（ ）日
ウ. （同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	（ ）日
エ. 父親又は母親のうち就労していない保護者が看た	（ ）日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	（ ）日
カ. ベビーシッターを利用した	（ ）日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）日
ク. その他（ ）	（ ）日

問 19 (2) へ

問 20 へ

問 19 (1) で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 19 (2) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われまし
たか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入くださ
い。なお、病児・病後児のための事業などの利用には、一定の利用料がかかり、利用前
にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい

⇒ 利用を希望する日数 () 日

⇒ 利用を希望する場所

ア. 宇土市内 イ. 市外 () 市・町

2. 利用したいとは思わない

問 20 へ

問 19 (3) へ

問 19 (2) で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。

問 19 (3) 利用したいとは思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安

2. 質に不安がある

3. 利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない

4. 利用料がかかる・高い

5. 利用料がわからない

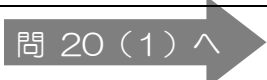
6. 親が仕事を休んで対応する

7. 利用方法(手続きなど)がわからない

8. その他 ()



問 20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不特定の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	（ ）日
3. ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業）	（ ）日
4. ベビーシッター	（ ）日
5. その他（ ）	（ ）日
6. 利用していない  問 20 (1) へ	

問 20 で「6. 利用していない」と回答した方にかがいます。

問 20 (1) 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 質に不安がある	4. 利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	7. 利用料がわからない
6. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	9. 利用方法（手続きなど）がわからない
8. その他（ ）	

問 21 宛名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。あてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的	（ ）日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など	（ ）日
ウ. 不定期の就労	（ ）日
エ. その他（ ）	（ ）日
2. 利用する必要はない	

問 22 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）泊
ア. 冠婚葬祭	（ ）泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	（ ）泊
ウ. 保護者や家族の病気	（ ）泊
エ. その他（ ）	（ ）泊
2. 利用する必要はない	

8 育児休業など職場の両立支援制度について

問 23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、お答えください（ひとり親家庭の場合は、いずれかで結構です）。（1つだけ〇）

母親	父親
1. 働いていなかった 問 24 へ	1. 働いていなかった 問 24 へ
2. 取得した（取得中である） 問 23（1）へ	2. 取得した（取得中である） 問 23（1）へ
3. 取得していない 問 23（3）へ	3. 取得していない 問 23（3）へ

問 23 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 23（1） 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つだけ〇）

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である 問 23（2）へ	2. 現在も育児休業中である 問 23（2）へ
3. 育児休業中に退職した	3. 育児休業中に退職した



問 23 (1) で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にかがいます。

該当しない方は問 24 へ

問 23 (2) 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つだけ○)

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

問 23 で「3. 取得していない」と回答した方にかがいます。

問 23 (3) 取得していない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて、あてはまるすべての番号を()内に数字でご記入ください。

母親 ()	父親 ()
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	
2. 仕事が忙しかった	
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	
7. 保育園などに預けることができた	
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	
9. 配偶者が無職、祖父母などの親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	
10. 子育てや家事に専念するため退職した	
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	
15. その他 ()	

宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。

問 24 お子さんが小学生になられた時、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）それぞれの欄であてはまる番号すべてに○をつけ、希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず24時間制（例：18時）でご記入ください。

	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）
1. 自宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
4. 児童センター	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）※1	週（ ）日くらい →下校時から （ ）時（ ）分まで	週（ ）日くらい →下校時から （ ）時（ ）分まで
6. 放課後子ども教室※2	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
7. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
8. 放課後等デイサービス	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
9. その他（公民館、公園、図書館など）	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい

※1 「放課後児童クラブ（学童保育）」…保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもに生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用できます。

問 24 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問 25 宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。平日、土曜日、日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて回答してください。

※（１）～（４）のそれぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけ、利用したい時間帯を（ ）内に24時間制（例：18時）でご記入ください。また、「2」を選択した場合は希望する学年も（ ）内に数字でお答えください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

問 25（１）平日（１つだけ○）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（ 年生）まで利用したい | |
| 3. 利用する必要はない | （ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分まで |

問 25（２）土曜日（１つだけ○）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（ 年生）まで利用したい | |
| 3. 利用する必要はない | （ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分まで |

問 25（３）日曜日・祝日（１つだけ○）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（ 年生）まで利用したい | |
| 3. 利用する必要はない | （ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分まで |

問 25（４）長期休暇中（１つだけ○）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（ 年生）まで利用したい | |
| 3. 利用する必要はない | （ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分まで |

10 子育て施策全般について

問 26 宇土市は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 思う | 2. どちらかといえば思う |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかといえば思わない |
| 5. 思わない | |

問 27 は宛名のお子さんが0～2歳である方にうかがいます。

問 27 国が検討している「こども誰でも通園制度(仮称)*1」が創設された場合、仮に月10時間まで定期的に利用が可能だとしたら、利用したいと思いますか。(1つだけ○)
希望がある場合(「2」または「3」を選んだ方)は、()内に具体的な数字を記入してください。時間帯は必ず24時間制(例:13:00～15:00)でご記入ください。
サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生する場合があります。

①利用希望(それぞれ○は1つ)	②利用したい時間帯(24時間制で記入)
1. 月1回利用したい 2. 月2回定期的に利用したい 3. 毎週1回定期的に利用したい 4. 曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい 5. 利用したいと思わない	(:)～(:) ※月10時間の範囲内でご記入ください。 (月2回の場合、1日5時間まで、 毎週1回の場合、1日2時間30分までの利用が 上限です。)

※1 「こども誰でも通園制度(仮称)」…普段、保育所や幼稚園等を利用していない未就園児を、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、保育所等で定期的に預かることで、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度です。

問 28 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。(1つだけ○)

※「子どもの権利」とは、「子どもの権利条約」に定められている次の4つの権利があります。

- ①生きる権利…住む場所や食べ物がある。医療が受けられる。命が守られる。
- ②育つ権利…教育が受けられる。持っている能力を伸ばせる。
- ③守られる権利…虐待を受けない。労働を強要されない。幸せを奪われない。
- ④参加する権利…自分の意見を自由に言える。団体活動や集会を開ける。

- | |
|------------------------------------------------------|
| 1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが内容は知らなかった
3. 知らなかった |
|------------------------------------------------------|

問 29 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(〇は3つまで)

1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
2. 障がいのある子が差別されないこと
3. 子どもが知りたいことを隠さないこと
4. 暴力や言葉で傷つけないこと
5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
6. 自分の考えを自由に言えること
7. 人と違う自分らしさが認められること
8. 自分の秘密が守られること
9. 自分のことは自分で決められること
10. 自由な時間をもつこと
11. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

問 30 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(1つだけ〇)

1. 常にしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしたことがない

問 31 宇土市の子ども・子育てに関する以下の取組について、どの程度満足していますか。(それぞれに1つだけ○)

		満足	え ば 満 足	ど ち ら か と い い え な い	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満
1	子育てのための経済的支援 (医療費助成などの子育てのための支援がある)	1	2	3	4	5
2	子育てに関する情報提供 (困ったときに必要な情報が受け取れる・相談ができる)	1	2	3	4	5
3	こどもの視点に立った居場所づくりの充実 (こどもが過ごす場所がある)	1	2	3	4	5
4	こどもや親の健康の確保 (乳幼児期までの親と子の心と身体の健康づくり支援がある)	1	2	3	4	5
5	小児医療の充実 (こどもが病気の時でも安心できる医療体制がある)	1	2	3	4	5
6	児童虐待防止対策の充実 (虐待を防ぐための支援やすぐに発見・対応できる体制がある)	1	2	3	4	5
7	ひとり親家庭等の自立支援の推進 (ひとり親家庭などさまざまな状況にある家庭への支援がある)	1	2	3	4	5
8	障がい児施策の充実 (障害や特性に応じた支援が受けられる)	1	2	3	4	5
9	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス (幼児教育・保育の環境やサービスの体制が整えられている)	1	2	3	4	5

問 32 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 子育てに関する相談や保護者同士が交流できる場を増やす
- 2. 子育ての意義・大切さなどの啓発
- 3. 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援
- 4. 母子保健サービスや子どもの救急医療の体制の整備
- 5. 子どもの発達、気になる情緒や行動に関する支援の充実
- 6. 虐待防止など、子どもの人権を守る取り組みを進める
- 7. 延長保育などいろいろなニーズに合った保育サービスの充実
- 8. ひとり親家庭などそれぞれの家庭のあり方に応じた子育て支援の充実
- 9. 子育てボランティアなど地域で子育てを支える活動を活発にする
- 10. 放課後児童クラブや児童センターのほかにも、子どもの放課後の居場所を増やす
- 11. 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会を増やす
- 12. 子どもの「生きる力」を育むための教育の充実
- 13. 非行防止などの青少年健全育成対策の充実
- 14. 仕事と子育ての両立しやすい環境づくりについての企業への啓発
- 15. 道路や施設などのバリアフリー化を進める
- 16. 子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める
- 17. その他 ()
- 18. 特にない

問 33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートにご協力いただきありがとうございました。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

